

さんようおのだ 議会だより

議会改革について — 2

委員会レポート — 4

一般質問 — 7

視察報告 — 10

お知らせ — 12



議会基本条例のもと… 議会改革を進めています！

山陽小野田市議会では、4月1日に制定された議会基本条例に基づいて、さらに議会改革を加速化させていこうと、現在さまざまな取り組みをしています。

今回は議会で初めて行った「政策討論会」や市民の皆さんの関心の高い「適正な議員定数を検討する議員協議会」などについて、その様子をお知らせいたします。そして、今後も議会一丸となって、議会のさらなる活性化に向け努力を続けていきます。



政策討論会を開催しました

○給食センターについて意見交換



議会基本条例第9条の規定により、5月28日「学校給食共同調理場建設」をテーマに、初めての政策討論会を開催しました。最初に担当の総務文教常任委員会からこれまでの経緯などについて説明があり、その後共同調理場に関わる様々な問題について意見交換をして、議員間の情報共有を図りました。

○さらに2回目を開催

給食センターの問題は6月議会の一般質問でも複数の議員が取り上げ、市民の関心も高いことから、6月21日に2回目が開催されました。一般質問での答弁も踏まえて、財政、食育、配送計画や建設場所、米飯の外部委託などさまざまな角度から、さらに意見を交わしました。

2回目では「行政に任せるのではなく、議会独自で学校給食について提案すべきでは」といった前向きな意見も出ました。

1、2回ともに傍聴者も10人、8人と多く、熱心に議員の議論に耳を傾けていました。



議員定数について協議しています

○ 会議の概要を公開

4月19日「適正な議員定数を検討する議員協議会」が立ち上がり、座長に小野議員、副座長に中島議員が選任されました。この協議会は議長の諮問機関で、積極的に議論を重ねていき、一年を目途に結論を出すこととなっています。

第一回の会議では「この協議会は法に定める委員会でないため公開の義務はないが、結果だけでなく審議の過程も例外的に公開とすべき」との意見で一致し、ホームページに会議の概要を公開することとしました。

○ しっかりと議論を

「まずは削減ありき」という意見もある一方、議会改革が加速化している山陽小野田市議会の現状や、地方分権の進む中でこれからの議会のあるべき姿などをきちんと議論して、何人の議員が必要かを協議すべきだという意見も出されました。

議員定数を考えるためには議会の運営や仕組み、議会に求められているものなど、さまざまな観点からの議論が必要です。市民の関心が高い問題でもありますので、議論の過程を含めた積極的な情報発信をしていきます。

議会報告会を続けていきます

○ 4月より義務化

昨年の6月から試行的に開催してきた議会報告会が、議会基本条例の制定により4月から義務化されました。

これからは3班に分かれて担当し、全員で役割分担して行うことになりました。

「わかりやすい説明をする」「参加者を増やす」など課題はありますが、市民への説明責任を果たすために、これからも定例会が終わるごとに地域に出かけていきます。ぜひ、市民の皆さまの出席をお願いいたします。



○ 6月議会報告会を開催

7月20日から27日まで行った6月議会報告会では延べ97人の参加がありました。各会場で活発な質疑が行われました。

議会改革度 中国地方で7位に！

【2012. 3～4月調査】

全国810市区対象に情報公開や住民参加などの取組みを調べた「議会改革度」調査（日本経済新聞社）によると、中国5県で山陽小野田市議会は7位に、全国では96位（昨年314位）にランクアップしました。これは4月に制定された議会基本条例に基づいて、情報公開や議会運営改善を行ってきた成果といえます。これからもさらに議会改革を進めていきます。



委員会レポート

■ 総務文教常任委員会

一 般 会 計

● 24年度補正予算（第2回）

防災ラジオを有償で配付

概要 本年3月FMサンサンきららと緊急放送に関する協定を結び、放送内容の変更や市役所から割り込み発信できることとなりました。今回の補正の防災費480万円は防災ラジオ600個（8000円／個）を準備し、有償（2000円／個）で、自主防災組織や特別養護老人ホームなどの要援護者施設や一般市民に配付するものです。

主な論点 「受信の仕組みについてはどうか」「配付に関して無償の検討は」「社会貢献としての企業協賛を求めるがどうか」などの質疑がありました。

これに対し「スイッチを切っても災害時に自動的に入る」「自費で購入して使うという意識醸成の観点から有償とした」「企業協賛は検討していない」との回答でした。

結果（全員賛成）



条 例

● 防災基本条例の制定

防災の基本理念を策定

概要 市、市民、事業者等の責務と役割を明

らかにし、災害に強いまちづくり推進への決意表明のため防災基本条例を制定するものです。

条文では、自助、共助、公助の観点から、災害対策の確立を図り、市民の生命、身体及び財産を災害から守るために必要な規定が盛り込まれています。

主な論点 「市民の意見を聞いたのは、3月のパブコメ1回のみであり、市民参加が少ないのではないか」「最近できた近隣他市と比較して具体性が乏しいのでは」「自治基本条例の精神が生かされていない」「ボランティアの役割等の具体的な項目がない」などの指摘がありました。

これに対し「この条例は基本理念条例であり、市民参加や具体的事項については地域防災計画の見直しを今年度実施するので、その時に取り入れる」との回答がありました。

結果（全員賛成）

そ の 他

● 山陽消防署庁舎建設事業請負契約の締結

2億8281万7500円で契約

概要 庁舎建設事業を指名競争入札で行い、嶋田工業・ヘキムラ興業共同企業体と請負契約を締結しました。

主な論点 入札方法についての質疑がありましたが、回答は「3者の応募があり、調査基準価格は下回ったが、最低制限価格は上回っており、問題はなかった」というものでした。

結果（全員賛成）



委員会レポート

■ 民生福祉常任委員会

一般会計

● 24年度補正予算（第2回）

県下2番目に男女共同参画宣言

概要 「男女共同参画都市宣言」を行い、9月29日に記念式典を実施します。

主な論点 「都市宣言は良いことだが市民の理解と意識向上をどう図るのか」議論され、「男女共同参画は看板・のぼり等で宣伝推進を図る」との答弁がありました。

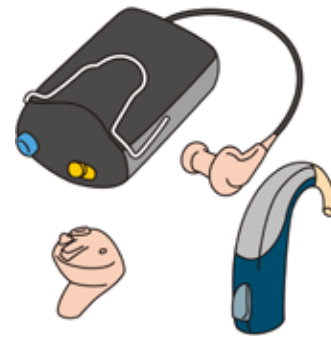
児童の補聴器を助成

概要 聴力レベル30～70デシベル未満で、身体障害者手帳を持たない18歳未満の児童への補聴器購入補助制度を新設し、補助額

は購入費・修理費の3分の2で県と市の折半です。

主な論点 「対象者の把握や18歳以上への補助の可能性は」「公共施設への磁気ループの設置を」などが議論され、「18歳未満が対象で人数の把握はできていない」「磁気ループは今後研究する」との回答がありました。

結果 （全員賛成）



■ 産業建設常任委員会

一般会計

● 24年度補正予算（第2回）

個人住宅の耐震診断を無料化

概要 住宅耐震診断を無料化して診断を受け易くし、実績を増やすことを図ります。

主な論点 「過去の診断実績は何件か」「今年度の見込みは」「無料化しただけで件数が増えるのか」など、件数増加の根拠について議論した結果、明らかになった事は「過去の実績は20年度に1件のみ」「今年度は23件分を予定」「これまでの補助金支給方式を、市が県建築士会を通じて診断士を無料で派遣する方式にし、耐震改修の方法まで報告する」などでした。

リフォーム助成で経済効果に期待

概要 要望が多かった住宅リフォーム資金助成制度に800万円を補正し、所要資金の10%（7万円が限度）が助成されます。

主な論点 「予算を上回る申し込みがあった場合どうするか」「対象工事金額の下限は」「経済波及効果はどれくらいか」など、活発な議論をした結果、明らかになった事は「全額市の持ち出しなので追加は難しい」「来年は4月から受け付ける予定なので待つ欲しい」「対象工事は10万円以上を予定している」で、地元への経済波及効果は15倍から20倍を見込め、市内業者の育成にも資するものと期待されています。

結果 （全員賛成）



委員会レポート

■ 議会運営委員会

請 願

●議員定数の削減に関する請願書

全員賛成で継続審査へ

概要 「ふるさとを考える会」から提出されたもので、主な内容は「適正な議員定数を検討する議員協議会」が立ち上がったが、削減の合意に危惧があるため、光・下松市を参考に定数を20名とすることを求めるものです。

参考人から「適正な議員定数を検討する議員協議会は削減の結論が出ない」「市民アンケートの73.7%が、議員数が多すぎる」「一般会計に占める議会費の割合は0.9%くらいで、財政的理由ではない」との指摘があり、

委員からは「少数精鋭の言葉はいいが、少数になったら必ず精鋭になるとは限らないのでは」などの質疑がされました。

結果 今後もしっかり議論していく必要があるとの提案を受け、継続審査となりました。

(全員賛成)



委員会審査の様子

紹介議員2名と請願代表者及び補助者2名の総数5名を参考人として招致し、委員会傍聴は、特例として32名を認めました。

◎議案に対する議員の賛否状況

5月臨時会、6月定例会において、賛否の分かれた議案等を掲載しています。
そのほかについては、全員賛成で可決しました。

平成24年5月臨時会、6月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																							
		石田清廉	伊藤武	伊藤實	岩本信子	衛藤弘光	江本郁夫	大井淳一朗	大空軍治	尾山信義	小野泰	河野平男	河野朋子	下瀬俊夫	硯谷篤史	高松秀樹	中島好博	中村博行	平原廉清	松尾数則	三浦英統	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	
平成24年度山陽小野田市一般会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
山陽消防署庁舎建設事業(建設主体・付帯工事)請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新病院に使用されるエネルギー(燃料)について	採択	○	○	○	×	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 —：棄権又は欠席 尾山信義議員は議長であるため賛否の結果はありません。

一般質問

公共施設再編は利用者の合意を

矢田松夫議員

問 厚狭図書館・厚狭公民館・山陽勤労青年ホームなどの利用者協議会で地域住民の声を聞きながら再編計画を進めよ。現行の厚狭図書館床面積が確保され、貸し館併用施設ではない「本当」の図書館機能が確保されるのか。

答 アンケートや地域の方々の意見を幅広く聞き、基本設計の中で建物のレイアウト、部屋の機能等詳細を策定していきたい。

厚狭図書館の現在の機能が低下することになってはならないし、現在の機能は確保していく。



厚狭公民館

観光施策と交流人口増大策

平原廉清議員

問 市外から鉄道を利用して小野田駅まで来た人が、江汐公園、竜王山公園、物見山公園と3つを一日で観光しようと思っても、適当な交通手段がなく無理である。観光客誘致には交通手段確保が重要だと思うが、市観光協会が自転車を貸し出してはいかがか。

答 現在のバス路線は、生活利用を前提としているので観光には利用しづらい面はあるが、一定の利用者がいないと路線の新設や増設は難しい。貸し自転車は需要があれば必要だと思う。



江汐公園入口

一般廃棄物の許認可権は誰に？

下瀬俊夫議員

問 平成14年の申請では不許可になった業者が合併直前の平成16年度には許可が出されている。市長公印欄に部長印が押された内部決裁文書があるが不自然ではないか。内部でどのような検討がされたかを調査したか。

答 一般廃棄物処理業の許認可権は市長にあり部長に委任することはない。合併直前になぜ許可されたのか疑問に思っていたが、その後、闇に葬られ解明していない。改めて総力あげて調査し、議会に報告したい。



浄化槽の清掃中
(本文とは関係ありません)

市道有帆中村線の側溝整備を

衛藤弘光議員

問 平成18年7月に地元より生活排水の側溝整備に関し、市長宛に要望書が提出された。同月市長と土木技監が視察し、10月市と地元の懇談会を実施した中で5年以内に整備するとの回答があった。平成22年11月に24年度以降予算計上すると回答されているが、24年度に計上されていない。地元との約束はどうなっているのか。

答 今年度は、継続中の道路事業が多くあるため、新規路線の採択ができなかった。交差点の部分は宇部土木建築事務所と調整していきたい。



生活排水が道に流れ出している



一般質問

保険証の取り上げは中止を

山田伸幸議員

問 各地で生活保護の受給ができず、餓死が相次いでいるが、事の発端は、高すぎる国保の保険料滞納による保険証の取り上げである。生活保護窓口での冷たい対応も重なり、孤立し行政に見放され亡くなっている。保険証の取り上げはやめるべきではないか。

答 保険料は市民が耐え切れるぎりぎりのところにきている。保険料の抑制策については、税金投入が必要だ。保険証については、資格証明書判定委員会で慎重に審査し、市長が決定している。



米飯委託の仕組みは複雑

河野朋子議員

問 学校給食の米飯炊飯は業者に委託しているが、この委託契約は「県学校給食会」と「パン業者」間での複雑な形態となっており、市は直接契約していないとのことである。これでは、直接市が価格の交渉や安全面の指導などできないため、米飯の回数を増やしたり、衛生面のチェックなどが行えない。このことには問題があると思うがどうか。

答 これは非常に複雑な契約であるが、文科省の通達で指導されているものである。



業務委託の契約制度の現状は

石田清廉議員

問 総合評価入札制度、最低制限価格制度、低入札価格調査制度の取り組みと業務を民間委託する意義、目的は適正か。単に職員削減、経費削減に重きを置いて安価な労働力の差し替えになってはいないか。

答 入札時において、標準的設計、施工方法に基づき価格面、技術力の評価、工事の実績、無事故などの評価をし、ダンピング受注防止、労働条件の確保、安全確保や事業の品質向上を目指している。

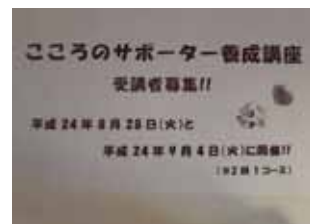


自殺対策は十分か

松尾数則議員

問 山陽小野田市の自殺対策は十分か。

答 平成22年度山陽小野田市において自殺で亡くなられた方は12名で、原因の多くは健康問題、経済問題である。自殺対策として市は心のサポーター養成講座を開催し現在34名のサポーターが誕生している。自殺者減少に向けて今後は声かけや必要に応じて医療機関等相談機関につないで社会全体で対応する必要があると考えている。



講座
ゲートキーパー養成

一般質問

江汐公園にドッグラン整備を

高松 秀樹 議員

問 愛犬家は市内にドッグランの設置を望んでいる。江汐公園内にドッグランの環境を整備してはどうか。

答 ドッグランの整備については、ニーズの把握から規模、立地などを調査することが必要であり、公園全体の整備計画の中で検討することが必要になると考えている。また維持管理、運営体制が特に重要な施設のようなので、そのようなことも加味しながら研究したいと考えている。



使われていない第2駐車場下芝生広場

市独自の学校給食ビジョンは？

岩本 信子 議員

問 学校給食法で定められた目標を実施することは当然だと考える。これまでに教育委員会が努力し、積み重ねてきた本市の独自の給食ビジョンや計画は策定されているのか。

答 本市が目指す学校給食のビジョン、計画は作成していない。パブリックコメントを実施した山陽小野田市学校給食基本計画（案）の基本方針と方向性（学校給食の目標）が学校給食のビジョンに該当する。



ガラスのまちをもっと発信しよう

吉永 美子 議員

問 本市のような現代ガラス展を行っているのは全国で4か所、そのうち作品そのものを審査しているのは本市のみであり、作者と作品に最大の敬意を表している。市民を入れてプロジェクトを立ち上げるなど、市が横断的な取り組みをして、ガラスのまちを県内外に発信すべきではないか。

答 全く同意見で、内部で問題提起をしている。名称の見直しや運営形態など、もう少し原点に戻って考えようと、準備を進めつつある。



大賞作品「何かが見ている予感」

市長の将来ビジョンは？

伊藤 實 議員

問 喫緊の重要課題である少子高齢化対策をはじめ課題山積の本市において、市長が将来どのような山陽小野田市にするのか、したいのかは大変重要であるが、現状はそのビジョンが政策等を見ても明確ではなく、整合性もない。市長の将来ビジョンとその対策と課題は何か。

答 今は総合計画に示した将来像実現に全力で取り組んでいくことが重要であり、計画期間後の構想などについて、市長といえども一個人として軽々しく意見を述べる事は適当ではない。





一般質問・視察報告

防犯灯のLED導入に助成を

中島 好人 議員

問 LED照明は、寿命が長くCO₂の削減、またエネルギー消費が少ないので維持管理の負担軽減、電気料の削減となっている。宇部市は、設置費60%の助成制度があり、平成23年度は、1112灯の内936灯がLEDで84%となっている。当市でのLEDは、新設が10件で切り替えが61件で、全体の33%である。市内5200ある自治会設置の防犯灯LED導入に対して、助成制度の創設を。

答 現行の制度を検証し、LED化促進策について検討する。



お知らせ

一般質問を傍聴しませんか

本会議の傍聴

本会議は、どなたでも傍聴できます。定員は報道関係者を除き35人で、他に車椅子(2人)の方のための傍聴席もあります。入口の受付で住所、氏名、年齢を記入していただきます。なお、9月定例会の日程は12ページをご覧ください。



傍聴席から見た議場

◎会派「日本共産党」

視察者 ■ 中島好人 山田伸幸 下瀬俊夫
視察日 ■ 5月8日～10日

<三重県四日市市>

- ①四日市市議会の通年議会の特徴
- ②議会改革について

<名古屋市・第19回市町村議会議員研修会>

- ①地域経済・雇用と自然エネルギー
 - 【講演1】自然エネルギーを基礎にした新しい産業構造の構築
(名城大学教授 井内尚樹)
 - 【講演2】地域の雇用を生み出す自然エネルギー
(自然エネルギー研究センター長 大友詔雄)

- ②開かれた議会と読まれ・親しまれ・役に立つ議会広報

【講演3】㊦議会広報が自治体情報の主役になる時①「伝える広報」から「伝わる広報」へ
(社団法人埼玉県コミュニケーションセンター 理事長 芳野政明)

- ③東日本大震災と地域防災計画のあり方

【講演4】東日本大震災の応急・復旧・復興から我々は何を学ぶべきか
(独立行政法人防災科学技術研究所 客員研究員 佐藤隆雄)



市町村議会議員研修会にて



視察報告

◎会派「改進黨」

視察者 ■ 小野 泰 石田清廉 衛藤弘光
河崎平男 中村博行

視察日 ■ 5月23日～25日

.....
<東京ビッグサイト・企業立地フェア2012>

- ① 企業誘致推進宣伝活動
- ② 市のブースで小野田・楠企業団地のポスター展示、森響水の配布などPR活動
- ③ 白井市長、見山理科大教授のプレゼンテーションにおいて、横断幕、呼び込み効果でプレゼン会場盛り上げ

<岩手県陸前高田市、釜石市他>

- ① 瓦礫処理・防災対策について
- ② 被災地視察バスによる陸前高田・釜石市など現地視察
- ③ まちづくり構想の受講

<千葉県船橋市・船橋オートレース場>

- ① 日本トータとの契約内容調査・・・昨年と同条件で単年度契約締結
- ② 船橋オートの現況調査・・・人口急増、企画や催しを工夫、売り上げは横ばい
- ③ 山陽オートについての今後の展望について



船橋オートにて

◎会派「刷新」

視察者 ■ 江本郁夫 岩本信子 平原廉清

視察日 ■ 5月23日～25日



企業立地フェアにて

.....
<東京ビッグサイト>

- ① 企業立地フェアへの参加
- ② 白井市長及び見山理科大教授による小野田・楠企業団地への誘致プレゼンテーション等の盛り上げ
- ③ 当市ブース来訪者への説明やPR
- ④ 参加他市との情報交換及びディスプレイの視察

<岩手県陸前高田市、大船渡市及び釜石市>

- ① 被災地の被害状況視察
- ② NPO 法人日本不動産カウンセラー協会常務理事・不動産鑑定士浅井敏博氏との意見交換

岩手県山田町山田地区における

- ・被災直後の救援について
- ・救援物資の管理について
- ・仮設住宅の在り方について



陸前高田市前の広大な更地化した市街地とがれきの山

◎企業誘致フォーラムを開催します

企業誘致を推進するために企業誘致フォーラム実行委員会が設置されました。

この度、推進活動の一環として「企業誘致フォーラム」を開催します。どなたでも参加できます。入場無料ですので、ぜひご来場ください。

とき 8月26日(日) 15:00～18:10

ところ 山陽小野田市民館 文化ホール
(中央図書館横)

- 基調講演「企業団地はなぜ売れないのか」
講師：三橋 貴明氏（経済評論家）
- パネルディスカッション
「小野田・楠企業団地をいかにして売るか」

お知らせ

9月定例会会期日程 (予定)

本会議の日程

9月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

開会時間は午前10時です。

月 日	本会議
8月31日(金)	本会議初日
9月7日(火)	一般質問
9月10日(水)	一般質問
9月11日(木)	一般質問
9月12日(金)	一般質問
9月13日(月)	一般質問
9月28日(水)	本会議最終日

編集室より



地球温暖化の影響だとされる集中豪雨、ゲリラ豪雨は毎年どこかで起こり、私たち人類を痛めつけています。今年も九州で大きな被害があり、二年連続の大雨災害を経験した本市としても心痛む思いです。

いつやってくるのか予測もつかない自然の脅威一。だからこそ、被害を最小限に食い止める「防災の仕組み」をしっかりと作っていかねばいけません。

◎広報広聴特別委員会

委員長 河野 朋子 副委員長 下瀬 俊夫
委員 石田 清廉 委員 伊藤 武
委員 硯谷 篤史 委員 高松 秀樹
委員 平原 廉清 委員 山田 伸幸



《表紙の説明》 議会では、議会基本条例の中で重要な市政の課題について議員間で自由討議する「政策討論会」を規定しています。今回は給食センター化について実施しました。市民の関心の高さから2回とも多数の傍聴者がありました。